

GRAND CONCERT GUITAR

心の弦を鳴らす。

ギターは生きもの。ヤマハはそう考えています。

あるときは激しく、あるときは密やかに

ひとつひとつの音が思づく、弾く人の心の振幅をとらえ、

聴く人の心の弦を鳴らす。

ギターとはそうあるべきもの、と考えているのです。

ギターを愛し、音を追いつづけるヤマハが到達したひとつの形。

ヤマハグランドコンサートギターGC-30シリーズ。

素晴らしい演奏家たちに捧げます。

——音にだけは、かぎりなく贅沢でありたい。

グランドコンサートギターGC-30A、30B、30C=300,000

GC-20M、20S=¥200,000

GC-15S=¥150,000 GC-10M、10S=¥100,000

YAMAHA

楽器株式会社

MIKIO HOSHIDO GUITAR RECITAL

芳 志 戸 幹 雄

ギター・リサイタル

- Two Studies Op.31-20, Op.35-16.....F.Sor
 Largo from "Deuxieme Fantasie" Op.7...F.Sor
 Menuet Op.11-1
 Five Preludes.....H.Villa-Lobos
 No.4 E minor, No.5 D major, No.1 E minor
 No.2 E major, No.3 A minor
 Two Studies.....H.Villa-Lobos
 No.11 A minor, No.12 A minor
 — intermission —
 Grand Sonata C major Op.22.....F.Sor
 Allegro, Adagio, Menuet, Rondo

1977年6月30日(木) 7:00 p.m. 東京文化会館小ホール

マネージメント

高柳音楽事務所

ソルの古典大作ソナタとビラ・ロボスに挑む
 芳志戸幹雄 ギター・リサイタル

MIKIO HOSHIDO GUITAR RECITAL

1977年6月30日(木) 7時開演

Thu., June 30th 7:00 p.m.

東京文化会館小ホール

お問い合わせ ● 高柳音楽事務所 TEL. 03-333-2242

指定席 ¥2,000

6/30

A 28

ギターを熟知した 2人の作曲家 ソルとビラ＝ロボス

芳志戸 幹雄



・F. ソル

ベートベンよりも2歳年長であったF. ソルは、その同時代性からか、「ギターのベートベン」と呼ばれることがあるが、むしろ、「ギターのモーツァルト」と呼ぶにふさわしい作曲家ではないだろうか。

ソルの作曲家としての領域は、ギター作品に限らず、オペラ、交響曲、室内楽曲、バレエ音楽等、多くのジャンルにわたっている。そして、それらの作品で高い評価を受け、第一線の作曲家とみなされた時期もある様だが、今日、それ等のギター曲以外の作品が演奏されることはなく、また、ソルもその時代に結局、ギタリストとして、また、ギターの為の優れた作曲家として名声をかちえたことをみると、やはり彼は古典期にギターの申し子として生まれてきた人なのであろう。

ところで、ソルの使用していたギター（スペインタイプ）は、現在のギタリストの使用するそれとはかなり違い、弦長は短かく、従って、ギター自身の形も小さく、音量も少なく、ギタリストにとってはピアノとハーブスコードほどの差にも感じられるものである。

弦長が短い、ということは、フレットの間隔も狭いということで、即ち、左手の技術も当時は、少なくとも現在のギターで奏くよりは楽なのであるが、今日、ギター愛好家がソルの時代よりはるかに大型の現代タイプのギターで練習曲等を奏ききっているということは、やはりギターにおける技術の進歩も大変大きなものがある様に思える。

「二つの練習曲」は、セゴビアが「20の練習曲」として編んでいるものの練習曲として愛好家には名高い。2曲とも、消音技術の練習曲ではあるが、これらの練習曲は、その内容において教育性を超越して、他の独奏曲に対しまったく遜色はない。

「第二幻想曲よりのラルゴ」、この作品は、ギターでは非常に楽器の鳴りにくいハ短調という調性を使いながら、実に良くギターに造形を影らせることに成功した作品であろう。

作品2 2番の「グランド・ソナタ」は、その規模的にも、内容的にも、ソルの作品の中ではもちろん、古典期におけるギターの作品の中で群を抜いた大作である。

この作品でも、第2楽章に、ハ短調という調性でアダージョを置きながら、「ラルゴ」同様のフラット系の調性の、ギターにおける一つの世界を創りあげ、他のあくまで男性的な楽章との対比を際立たせている。第4楽章のロンドは、これのみ抜き出されて演奏される機会も多いが、ギターの為の「ロンド」としては、最高傑作の一つであろう。

・ビラ＝ロボス

彼の歴史が南米音楽史である、といわれる程のビラ＝ロボスは、オーケストラ作品で、南米を色彩豊かに、雄渾に歌いあげた様な面以外に、ギターとチェロを、自ら奏き、最も愛した。あらゆる種類の楽器をひきこなしたといわれるビラ＝ロボスは、特にギターの演奏に卓抜なものがあつたらしく、自作自演のレコードを2枚出している。

ビラ・ロボスとギターのつながりは、アンドレス・セゴビアと知遇を得ることによってさらに強まり、今夜の、前奏曲集は1941年に、練習曲集は1929年に書かれ、セゴビアに捧げられている。

ビラ＝ロボスは、その創作の素材に南米の民俗音楽、特にインディオのそれを多くの作品に使ったが、この前奏曲、練習曲も、その例にもれない。

しかし、前奏曲において、よりそのインディオの音楽の色彩は強く現われており、そういったものがビラ＝ロボスのまことにユニークなギターの和声感覚で処理され、ギター音楽として昇華されている。

良くギターを知りすぎた作家の作品は、それ故にの、限界、といったことをいわれるが、ソル・ビラ＝ロボス、共に、ギターを熟知したが故に、まったく独自の世界を拓いた数少ない好例といえよう。

ギター・ミュージック社
毎月20日発売!
定価450円

Guitar Music

あなたの毎日の悩みやテーマを的確にとらえた、本格的ギター専門誌

●デザイン一新、大増ページ、定価値上げの450円
●内外190人のギター専門家が直接ペンをとる専門誌
●毎月大型楽譜添付、あなたの永遠の財産になります
●驚くたいむ
●青春にける
●あなた毎日の悩みやテーマが、この様にのかりやすく掲載されています
●音楽に実力のつく基礎練習とは82年2月号特号より日本人がそのテクニックを永く維持できないのはなぜか? 自習練習の最大の目的はなににか? 美しい音を生む決定的ポイントとは? 音楽を指す為の指法等、to. 生む決定的ポイントとは? 美しい音を生むタッチについて
●連続写真でみる「美しい音を生むタッチについて」(50年4月号特号)
●美しい音を生む「爪」について(50年8月号特号)
●初心者の為のやさしい独奏曲……大森瑞穂 他
●音楽の玉手箱……真田由郎 他
●ギター専門家を志す人々へ……新堀寛巳

お申込み
お問合せ **ギター・ミュージック社** 東京都杉並区阿佐谷南1-1-15 千166
TEL (東京03)314-3165(代) 振替/東京120770